

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホームこすもす

(ユニット名) _____

記入者(管理者)
氏名

逸持治 幸子

評価完了日

平成 21年 1月 21日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>入居された方が、その人らしく生き生きと暮らしていただく為にどのようなケアを提供していけばよいのかを考えながら理念を策定した。</p> <p>住み慣れた地域で、家庭に近い環境を整えお一人おひとりに応じたケアを行います。</p> <p>のんびりゆったり役割を持ちながら楽しめる生活を送っていただきます。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>ミーティング及びモニタリングなどで理念に基づいて話し合いを行っている。</p> <p>日常生活の中で行ってきた家事を一緒に行っていただくことも家庭的な環境の1つとしてその人の持つ能力に応じながら役割を持って生活していただけるよう支援している。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族の方には介護計画の説明の際に説明をしている。</p> <p>年4回広報誌を発行しご近所の方にも配布し、ホームの生活を理解していただくよう努めている。</p> <p>中学生の職場体験の受け入れの時、見学の方がこられた際に説明している。</p> <p>市内の研修会でグループホームについて話をさせていただいた。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>隣の家の方と、花壇の手入れをしている時や子供さんが遊んでいるときに一緒に話をしたりして交流を深めている。</p> <p>隣の家の方が、身内のことで相談に来られたときや、クリニックを受診された方の相談に乗ってほしいと医師から依頼されたときなどお話を伺っている。</p> <p>年4回広報誌を発行しご近所の方にも配布し理解をしていただくよう働きかけている。</p> <p>夏祭りやクリスマス会の招待状をお届けしたりしている。</p> <p>中学生の職場体験の受け入れを行っている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>近くの中学校の演奏会や文化祭に招待いただき参加させて頂いた。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>系列の事業所の職員の研修の場として、認知症の介護について知識・技術の向上に役立てられるよう努めている。</p>	<p>認知症対応型の事業所として、認知症の介護について勉強会を企画してはどうか、検討している。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価についてミーティングなどで話し合いをし、理解を深めている。 自己評価には全員で取り組むようにしている。 外部評価の結果、改善すべきところには速やかに取り組んでいる。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームの近況や現在取り組んでいることなどを報告している。 委員の方からいただいた意見を職員で話し合いホームの運営に活用している。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の報告の際に現在の状況について合わせて報告を行っている。 今年度は実地指導があり、不明な点や不確かだったことについていろいろ教えていただいた。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し理解を深めている。</p>	<p>活用できるまでにはいたっていない。 必要な方に速やかに活用していただける様に勉強会を開くなどをして理解を深めていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングの時などに話し合う機会を設けている</p>	<p>勉強会を行い、尊厳ある暮らしの実現とは何か、改めて問いかけていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の移動や新採用者による利用者・家族の方の不安の解消を図るために、その都度自己紹介をし又広報誌でお知らせしている。</p> <p>職員紹介のコーナーを設けている。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の職歴などを考慮し段階的に教育プログラムを作成。本人にも達成目標を伝え指導にあたっている。</p> <p>研修会参加も成長段階に応じて選択し出席させている。</p> <p>事業所内での研修は分野ごとに担当を決め直接指導にあたっている。</p> <p>介護についてはその都度指導に当たりケアの向上に努めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>福島県グループホーム連絡協議会会津支部主催の他グループホーム見学会に職員を参加させるなどの機会を設け他事業所の職員との交流を図っている。</p> <p>会津排泄ケア研究会のメンバーとして参加し他職種との交流を図っている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員から申し出があった時は様子を見ながら声をかけゆったりと話を聞くようにしている。</p> <p>親睦会を開き気軽に話し合う場を作っている。</p> <p>リフレッシュ休暇を設けている。</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>専門職業人として向上していけるよう、職員の資格取得に向けた支援を行っている。</p> <p>事業所として個人ごとに目標を立て、管理者は目標が達成できるよう支援している。</p> <p>研修会参加後は復命書の提出だけではなく、事業所で行っている勉強会で発表する機会を設け、プレゼンテーション能力の向上と他職員と情報の共有を図るようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の方の持っている知識や技を教えていただけるよう工夫し、常に入居者の方の思いや心を考えながら日々の生活を一緒に送っている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>訪問されたときや介護計画の説明をさせていただいたときにホームでの生活の情報を提供し、家族の方と相談しながらケアを行うようにしている。</p> <p>外泊中の様子を伺い、ケアに生かすようにしている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>受診は家族の方に依頼し、本人と過ごす時間を大切にさせていただいたり、現在の状態を把握していただけるようにしている。</p> <p>ホームの行事に参加していただき、ともに楽しんでいただけるよう工夫している。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会については家族の方が制限されない限り自由にさせていただいている。</p> <p>少人数でドライブに出かけ、好きな場所・思い出の場所に行き、楽しんでいただいている。</p> <p>行事の時に、普段はあまりお会いできない兄弟の方にもおいでいただき一緒に楽しんでいただいている。</p>		<p>冬になり外出する機会が少なくなってきたので、晴れた日のドライブを積極的に行って生きたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>入居者の方同士がリラックスして話ができるように関係性を考慮し、テーブルに座る場所の位置を工夫している。</p> <p>お茶や食事の時間は職員も一緒に多くの会話を待つようにしている。</p> <p>レクリエーションや家事を一緒にしていただきながらコミュニケーションがうまくいくよう働きかけている。</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居後も、相談を受けたりお話を伺ったり落ち着かれるまでお付き合いしていた。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>本人が話してくださった言葉、日常生活でのちょっとした変化、ケアを行ったときの状況など出来るだけありのままに記録し、情報を共有し次の介護計画に生かせるようにしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>入居者の方が安心して暮らしていただけるよう、近くの交番に広報誌をお届けしホームの生活を理解していただけるよう努めている。</p> <p>入居者の方と図書館で本などを選んでいただき活用している。年度末には図書館から除籍する本の紹介があり、いただいてきて日々のレクリエーションに活用している。</p> <p>地域の日赤町内会の皆様が草むしりに来ていただいたり、ホーム内で行う行事には職員の知人が応援に来てくださるなど、地域の方の協力をいただいている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>入居者の方・家族の希望で訪問美容サービスを利用している。</p> <p>母の日には宅配サービスを利用し、食事を楽しんでいただいた。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員の方に参加していただいている。地域の社会資源の情報をいただいたり、第三者委員の立ち上げに協力をいただいている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の方が希望するかかりつけ医となっている。受診に当たっては家族の方の同行が基本であるが緊急時には職員が同行するようにしている。入居時の説明時にこのことをお伝えし同意を得ている。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>入居以前のかかりつけ医にそのまま継続して受診していただいている。必要に応じ連携をとりながら対応している。</p>	
45			
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時に、入院期間・ホームで対応可能な状態について医師などに伝え、看護師・相談員と連携しながら早期退院に向け協働で支援している。</p> <p>職員が面会に時、ご本人に合った介護の方法など伝えたり、一緒に行くなどして入院によるダメージを出来るだけ少なくなるよう支援している。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期にある入居者・家族の方に、事業所が対応できる最大のケアを行うに当たって様々な状態を想定して検討をしている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>急変した場合の対応について家族と搬送先の病院の確認を行っている。急変時に備え、日頃より状態の観察・異常時の対応について職員間で話し合いをしている。</p> <p>終末期の介護について、対象となる方はまだいらいっしやらないが、現時点で何が出来て何に不安を感じているかなどミーティングなどで話し合いをしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>他の事業所に移られるときは、家族の方の了解の下に基本情報、介護経過及び介護計画について報告を行っている。</p>	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>否定しない介護・指示命令をしない介護を日々の介護の基本としている。</p> <p>プライバシーに関することについてはミーティングの時などに声をかける場所に注意して行うよう確認をしている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者の方お一人お一人に合わせた言葉かけを行い、どんなことでも本人が決定するような働きかけを行っている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが、お一人おひとりのペースや過ごし方に沿って、その人らしい生活が出来るよう支援している。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>着替えの準備は入居者の方の意向を確認しながら一緒に行っている。</p> <p>カットや毛染めについては本人の希望を伺いながらしていただくよう出張の美容師さんに依頼している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理前に献立の内容をお伝えし、お一人お一人の力に合わせて調理をしていただいたり盛り付けをしていただいている。</p> <p>一緒に食事をして感想や好みのものを伺ったりをしている。食後は入居者の方と一緒に後片付けを行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入居者の方の好みを把握し、ご本人に確認しながら準備し楽しんでいただけるよう支援している。</p> <p>買い物に同行していただいた時に、好きなものを選んでもらうよう声をかけたり、お茶の時間に好みの飲み物を選んでいただき、準備している。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄の時間や習慣を把握し、トイレに案内することでトイレで排泄していただけるよう支援している。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者の方に、意向を確認し入っていただいている。</p> <p>なかなか入っていただけない方には声掛けを工夫し出来るだけ入っていただけるよう働きかけている。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>お一人お一人の生活習慣やその時の希望に応じて就寝時のケアを行っている。</p> <p>寝付けない方には温かい飲み物をお出しして一緒にお話し、安心して休んでいただけるよう支援している。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>家事を行うときにはその都度声をかけ、入居者の方と一緒にいき、お一人お一人の力を発揮していただけるよう働きかけている。</p> <p>家事が済んだ後は感謝の気持ちを伝えている。</p> <p>買い物や野菜の収穫を一緒に行い楽しんでいる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>自分でお金を手元におきたいと希望される方については、家族と相談し自分で管理していただいている。</p> <p>買い物に同行していただいた時に、その方の力に応じて支払いをしていただくこともある。</p>	
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>本人の気分や希望に応じて、散歩や買い物、ドライブなどに出かけている。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>年に2回、花見や紅葉狩りなどの計画を立て家族の方と一緒にバスハイクに出かけている。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>電話・手紙などについては入居者の方から希望があった場合はその都度本人の力に応じた支援を行っている。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>仕事帰りやご家族の方の都合のよい時間に、いつでも面会に来ていただけるよう配慮している。</p> <p>面会の場所については本人・ご家族の居心地のよい場所どこでも自由に過ごしていただいている。</p>	
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>その人の人権を守ることがケアの基本であるという認識に立ち、身体拘束はもとより言葉による拘束にも留意し、否定しない介護、指示命令をしない介護を基本においている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>入居者の方が外出しそうなときは安全面に考慮し、お話しを伺いながら同行させていただく。</p> <p>日中は鍵をかけることなく自由に過ごしていただいている。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>入居者の方と同じ場所で記録などの事務作業を行い全員の状況を把握するよう努めている。</p> <p>夜間は入居者の方の様子分かる場所で休憩し、さらに2時間ごとに巡視確認を行い安全に配慮している。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>入居者の方の状況に応じて、注意の必要な物品については鍵のかかかるところに保管している。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>入居者の方お一人おひとりの状態から予測される危険を検討し介護計画に組み入れ、事故を未然に防ぐよう工夫している。</p> <p>ひやりはっと・事故報告書を提出し、そのときに原因・対策について検討し職員間で共有している。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>職員は応急手当の講習会に参加し、体験するようにしている。</p> <p>応急手当のマニュアルを作成し、職員に周知徹底を促している。</p>	<p>今後も引き続き講習会に参加し、応急処置・救命救急の初期対応について知識技術の習得をしていく。</p> <p>講習会で得たことを事業所内で実習し体得していく。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災事の避難訓練を年2回実施している。</p> <p>避難訓練のうち1回は消防署の協力を得て通報訓練・水消火器による消火訓練を行っている。</p> <p>地域の協力体制については区長さんを通じて依頼している。</p>	<p>今後、ご近所の方の協力が得られるよう働きかけていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>介護計画の説明の時や面会の際に状態の変化を伝え、危険性などについて説明している。</p> <p>車いすのベルトを希望される家族の方には事業所の取り組みと安全のための介護の仕方などについて説明し理解をいただいている。</p>	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日バイタルサインの測定を行っている。普段の状態を把握し、変化が見られたときはバイタルサインのチェックを行い看護師に報告・職員間で情報を共有している。異常時は直ちに家族に状態を報告し、医療受診を行っている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬一覧表を作成し、薬局からの薬の説明書を薬と一緒にケースに保管し、配薬準備時に確認できるよう工夫している。</p> <p>服薬時は誤薬防止のため3度確認し、きちんと飲んでいただけたかどうかの確認を行っている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食事には食物繊維や乳製品を多く取り入れるようにしている。</p> <p>散歩・レクリエーション・家事などで適度な運動を行っている。</p> <p>排便困難時には腹部マッサージを行い、排便を促している。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の方の状態に応じ、食後にうがいや歯磨きをしていただき、口腔内の清潔が維持できるよう支援している。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量を毎日チェックし、栄養・水分量の管理をしている。口腔の状態や食生活の習慣を把握し食事の形態を工夫している。</p> <p>血液検査の結果を参考にしたり、栄養士に献立のアドバイスを受けている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後は手洗い・うがいを徹底しかぜの予防をしている。 ペーパータオルを使用し感染の予防を図っている。 掃除マニュアルを作成し、手順どおり行い、チェック表で確認している。		次亜塩素酸ソーダーにより、定期的な掃除を行う。 現在マニュアル作成中である。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に行き、新鮮な食材を使用している。野菜については地産地消を基本として購入している。 台所の衛生にも気をつけて、マニュアルを作成し手順どおりに行いチェック表を設けて確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	駐車スペースの隅に花壇を儲け季節ごとに花を楽しめるよう工夫している。 玄関スペースにベンチを置き、くつろげるよう配慮している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月ごとに古来からの行事を取り入れ、季節感を感じていただいたり、七夕・小正月には一緒に飾り付けを行い体感していただけるよう工夫している。 台所とホールは直接つながっており、食事の準備する音・匂いなどで生活を感じられるよう配慮している。 強い日差しがあたらないように、ロールカーテンを設置した。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールに隣接している和室には、掘りごたつを設けてあり、洗濯物をたたみながら談笑したりするスペースとなっている。 ホールから出られるウッドデッキにイスを置き一人でゆったり出来るよう工夫をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人の使い慣れた物やなじみの物を生かしながら落ちついて暮らしていただけるよう工夫をしている。(写真・愛読書)</p>	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>その日の気温に応じて冷暖房の調節を行っている。日に2回定時に室温を測定し確認を行っている。</p> <p>居室も本人の希望を伺いながら調整している。</p> <p>冬期間は掃除の時に、他の季節は随時換気を行っている。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>テーブルの高さを調節できる物を準備し、自立して食事が出来るよう配慮したり入居者の方の状態に対応できるよう環境を整えている。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室入り口の飾り棚のディスプレイを入居者の方と家族の方で自由に行っていただくことで、自分の部屋だと認識していただくよう工夫し手いる。</p> <p>トイレ入り口には「便所」と張り紙をし、分かりやすい工夫を行っている。</p>	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周囲に花を植えたり花壇には花や野菜を植え、花をつんで飾ったり野菜の収穫を一緒に行ったり季節を感じていただけるよう工夫している。</p>	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- 1・入居者の方一人ひとりに合わせた介護。出来ることを大事にしていく介護。
- 1・人生の先輩として、丁寧語・敬語でお話しさせていただいている。
- 1・入居者の方お一人おひとりが、得意の分野で生き生きと活躍できるよう支援している。
- 1・職員はミーティングなどで積極的に意見を出し合い、入居者の方によりよい生活を送っていただけるよう意欲的に取り組んでいる。
- 1・家族会が設立されて、家族の方同士の結びつきも強くなり、又職員との交流も深まり入居者の方の生活をともに支えあっている。